

実践は、積み重ねるほど、深みを増す！雁宿小学校の青木先生が頑張っています！

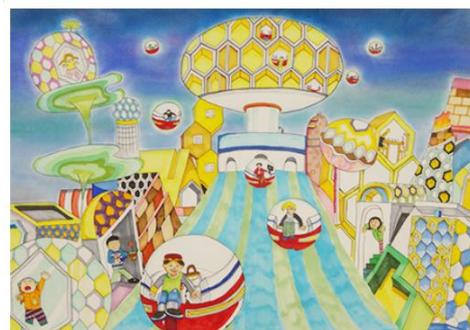
青木孝輔先生（新知小）、青木翔太先生（雁宿小）、宮下（加木屋小）の3名で行いました。人数は寂しかったですが、青木翔太先生が貴重な提案をしてくださったので、多くの学びがありました。今年の自主研も最後となりました。来年も「継続は力なり」の精神で頑張ります！

【提案】

青木翔太先生より、「自動車工業のさかんな地域」の実践計画を提案していただきました。青木先生は、1学期は「米作りのさかんな地域」、2学期は「水産業のさかんな地域」の実践報告してくださっています。また、抽出児の3人の変容を追いつけています。

これまで、ユニバーサルデザインの視点を取り入れて資料（グラフ）の読み取りに力を入れてきたため、子どもたちの資料を読み取る力は付いてきているそうです。しかし、思考・判断の面は、もっともっと力を付けさせたいと青木先生は考えられています。また、子どもたちの学習意欲をさらに掻き立てるような実践をしたいと考えられていました。また、この実践を通して抽出児Aに自信を付けさせたいという思いをもっていました。

そこで、「自動車工業のさかんな地域」の学習をどのように進めるかを考え、単元構想を練っていました。全12時間を「つかむ」「追究する」「深める」「まとめる」の4段階に分けて構成し、導入ではペーパークラフトを作成することから始める計画でした。「追究する」では、自動車工場の見学に出かけます。「まとめる」の段階では、学習したことを生かして、「夢の自動車」のプレゼンテーションをする計画でした。子どもたちが楽しく、生き生きと学ぶ姿が目に見えました。



「トヨタクルマアートコンテスト」
ホームページより

さまざまな単元で流れを工夫して授業を展開し、実践と考察を重ねる青木先生の姿勢は本当に素晴らしいです。来年度は、今年度の実践を教育論文にまとめる計画もあるようです。青木先生、頑張ってください！

【話し合いの中で…】

- ・それぞれの学級（学校）の実態について報告し合いました。
- ・タブレットが導入され、授業での活用が少しずつ増えている。→すぐに電源が切れてしまうなど、不具合が生じることもある。有効な活用には実践の積み重ねが必要。
- ・児童会のサミットが行われて参加をした。
- ・情報モラルのゲストティーチャーとして、ドコモの方に来ていただいた。子どもたちにとって、とても分かりやすい内容であった。
- ・課題を抱えた児童が多い。→すでに来年度に向けた話し合いがされている。 など

知多社会科同好会『新年会』の開催予定について

- 日時 平成28年1月5日(火) 18:30～
- 場所 太田川駅周辺